

## 運用実績

基準価額 10,416円

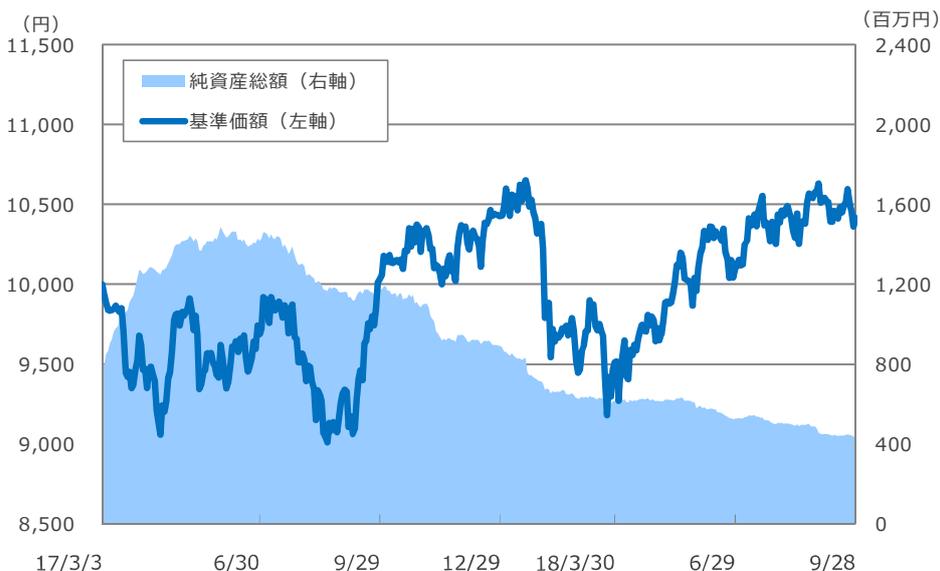
前月末比 ▲96円

純資産総額 435百万円

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

ファンド設定日：2017年3月3日

## 基準価額等の推移



※基準価額は、信託報酬控除後の値です。

## 資産構成 (単位：百万円)

本ファンド	金額	比率
米国中小型割安株・マザーファンド	423	97.1%
現金等	12	2.9%

マザーファンド	金額	比率
外国株式	409	96.7%
現金等	14	3.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

## 期間収益率

設定来	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
4.16%	-0.91%	3.18%	9.48%	3.80%	-	-

※期間収益率は税引前分配金を再投資したものととして算出した税引前分配金再投資基準価額により計算しています。

## 収益分配金 (税引前) 推移

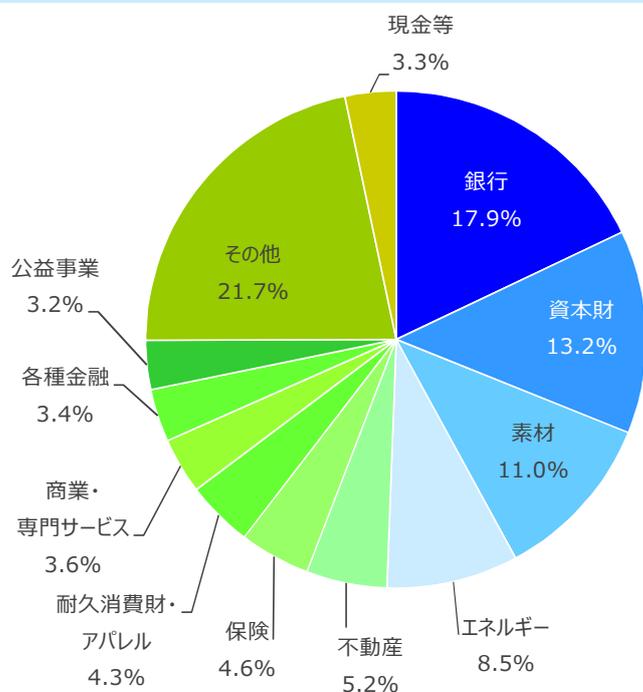
決算期	第1期	-	-	-	-	設定来累計
決算日	2018/3/5	-	-	-	-	
分配金	0円	-	-	-	-	

※収益分配金は1万口当たりの金額です。

## 運用資産の状況 (本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。)

※ 本ファンドの主要投資対象である米国中小型割安株・マザーファンドは、アライアンス・グローバル・インベスターズU.S.LLCに運用を再委託しています。

### 業種別構成比率



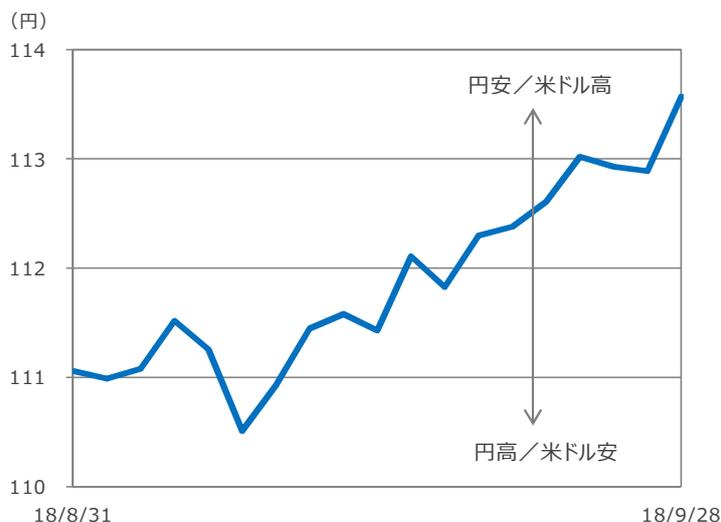
※業種別構成比率は、純資産総額に対する割合です。  
 ※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

### 組入上位10銘柄

銘柄名	比率
1 メタネックス	1.37%
2 DSW	1.33%
3 クレイン	1.31%
4 ブランズウィック	1.30%
5 ITT	1.30%
6 オールド・リパブリック・インターナショナル	1.27%
7 ヒル・ロム・ホールディングス	1.25%
8 リーガル・ベロイト	1.24%
9 グレート・ウェスタン・バンコープ	1.24%
10 マンモス・リアル・エステート・インベストメント	1.23%
組入銘柄数	97銘柄

※比率は純資産総額に対する割合です。

### 為替 (米ドル/円) の推移



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客  
 電信売買相場仲値を採用しています。

当月末	月間騰落率
113.57円	+2.26%上昇

## 当月の市場動向及びファンドの運用状況

※下記のコメントは、本ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っているアリアンツ・グローバル・インベスターズからのコメントです。

### 当月の市場動向

当月の米国株式市場は、大型株が小幅に上昇する中、小型株は下落となりました。株式市場全体としては、良好な経済指標と継続する企業の収益成長が貿易問題への懸念を相殺しました。

市場で幅広く予想されていた通り、9月に米連邦準備制度理事会（FRB）が今回のサイクルで8回目となる利上げを実施しました。政策金利を25bp引き上げた結果、誘導目標レンジは2.00%-2.25%となりました。また、FRBは政策が「緩和的」であるという文言を削除し、引き続き今年12月に追加利上げを実施し、2019年に3回、2020年に1回の利上げを実施する見通しを示しました。

### ファンドの運用状況

第3四半期の初めにメタノール製造メーカーのメタネックスが第2四半期の決算を公表し、引き続き堅調にキャッシュを創出しています。また同銘柄は、堅調な石油及びエタノール相場、及び9月中旬のアナリストによる見直し引き上げも買い材料となり上昇しました。

産業用機器メーカーのクレインは、決済処理における自動化トレンドの恩恵を受け、同社が決済及びマーチャндаイジングに関するテクノロジーの分野で成長に強い自信を見せており、セルサイドのアナリストらも同社に対するポジティブな見通しを継続したことなどから、同社の株価は上昇しました。

人材管理事業を展開するコーン・フェリー・インターナショナルは、収益が前年比+16%伸び、予想を上回る第1四半期決算を公表しました。しかし、第2四半期の収益伸び率の減速に対する懸念や、人員の減少が収益に悪影響を及ぼすのではないかと懸念から株価は軟調に推移しました。

電子部品メーカーのビシェイ・インターテクノロジーは、2018年第2四半期に株価が大幅上昇した後、需給の不均衡が懸念され9月に反落し、上昇幅を解消しました。同社は引き続き強い需要トレンドの中で、多くの商品が完成するまでに長い期間を要しています。

当月は2銘柄を購入し、7銘柄を全売却しました。

ノースカロライナ州シャーロットに所在するエクステンディット・ステイ・アメリカは、北米でホテルの所有及び事業管理を行っています。購入時の絶対及び相対ベース、またヒストリカルでみたバリュエーションが魅力的であったことから購入しています。また、2014年初めに配当を開始した後、年平均で25%程度の配当の引き上げを行っています。

オールド・ナショナル・バンコプは、当戦略内で年初からのパフォーマンスが最も良い地方銀行となり、バリュエーションが大きく上昇しました。バリュエーションが上昇し、魅力的な水準ではなくなったことから全売却しました。

※コメントに記載のある企業は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

## 今後の見通しと運用方針

※下記のコメントは、本ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っているアリアンツ・グローバル・インベスターズからのコメントです。

米国での政治的な争い、FRBによる利上げ、激しい関税・貿易摩擦に直面する中、米国株式市場はグロース株中心に上昇してきました。9月にラッセル1000グロース指数は、ラッセル1000バリュエーション指数を13%超アウトパフォームしています。

2018年も年末に近づく中、選挙結果に関わらず米国の中間選挙が米国株にとって新たな追い風となる可能性があります。投資家は10月について、1929年や1987年、直近では2008年のような歴史的な相場の下落を連想しますが、Strategas Securities社のデータによると中間選挙が実施される年の10月のS&P500種株価指数は、4年間の大統領任期の中で最高の月間収益率となっています。

過去のデータに基づけば、1949年以降、4年間の大統領選挙サイクルの中で中間選挙の年に該当する3四半期間はS&P500種株価指数が平均21.1%上昇する等、最もパフォーマンスの良い期間となっています。2018年第4四半期（10-12月期）は、この3四半期間の中間選挙が実施される最初の四半期に該当します。また、Strategas Securities社によると、1946年以降、どちらの政党が勝利したかに関係なく、中間選挙後の12カ月間でS&P500種株価指数は一度も下落しておらず、平均で15%上昇しています。

株式市場の予言は不可能であり、投資家は長期間にわたる上昇相場の見通しに苦慮していますが、ビジネス環境は引き続き良好なものであると考えています。S&P500種株価指数に組み入れられている企業の第2四半期の収益成長は、2010年以降2番目の水準となりました。FactSet社によると、これらの企業は2018年第3・4四半期に再び二桁の成長を達成すると予想されています。とりわけ、金融政策の引き締めを背景に、投資適格企業の比率を高め、投機的な企業を回避します。

当運用チームではアクティブ・マネージャーとして、ファンダメンタルズ調査を実施し、企業の見通しを評価しています。この手法は、投資家が安定的な絶対リターンや、長期的なボラティリティの抑制を追求するような現在の環境下では、非常に重要な意味を持つものとなるでしょう。

## 《ご参考》－組入上位10銘柄の概要－

	銘柄名（英語名称）	業種	比率
事業紹介			
1	メタネックス（METHANEX） 世界のメタノール市場で高い市場占有率を持つ大手メーカー。カナダのバンクーバーを拠点とし、チリ、エジプト、ニュージーランド、タイなど世界各地で事業を展開している。	素材	1.37%
2	DSW（DSW） 米国全土で500以上の店舗を運営する靴専門販売会社。幅広い種類の靴をディスカウント価格で販売している。（企業名はDesigner Shoe Warehouseの頭文字。）	小売	1.33%
3	クレイン（CRANE） 産業用機器総合メーカー。自動販売機、航空機のブレーキなどの製造を手掛け、多くのニッチな市場で確固たる地位を築いている。	資本財	1.31%
4	ブランズウィック（BRUNSWICK） 1845年に事業を開始したレジャー用品関連企業。スタードライブ、フィットネス関連機器、ビリヤード用品、ボーリング用品など幅広く手掛ける。	耐久消費財・アパレル	1.30%
5	ITT（ITT） エネルギー産業、輸送産業、工業用産業で重要箇所の部品やカスタマイズした部品の製造、販売を手掛ける。	資本財	1.30%
6	オールド・リパブリック・インターナショナル（OLD REPUBLIC INTERNATIONAL） イリノイ州シカゴに本社を置く、保険持株会社。子会社を通して財産・賠償責任、モーゲージ保証、労災補償、自動車、航空等の各種保険商品を提供している。	保険	1.27%
7	ヒル・ロム・ホールディングス（HILL-ROM HOLDINGS） 世界100カ国以上で事業を展開している医療機器メーカー。臨床転帰や経済的効果の改善につながるような患者治療のソリューション提供に注力。	ヘルスケア機器・サービス	1.25%
8	リーガル・ベロイト（REGAL BELOIT） 米国、カナダ、南米、欧州、アジアで事業を展開する電気モーター及び制御器メーカー。また発電・送電サービスなども手掛ける。	資本財	1.24%
9	グレート・ウェスタン・バンコープ（GREAT WESTERN BANCORP） 地銀大手のグレート・ウェスタン・バンクなどの銀行持株会社。サウスダコタ州スーフォールズを拠点としている。	銀行	1.24%
10	マンモス・リアル・エステート・インベストメント（MONMOUTH REAL ESTATE INVESTMENT） 賃料、税金、修繕費用を賃借側が負担するネットリース工業用不動産専門の不動産投資信託会社。主要な空港、輸送拠点、製造工場の近くなどの不動産獲得に注力。	不動産	1.23%

※比率は純資産総額に対する割合です。

※事業紹介は本ファンドのご理解を深めていただくために作成したものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

※上表に記載の内容は基準日現在のものであり、将来予告なく変更する場合があります。

## ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

この投資信託（以下「本ファンド」という場合があります。）は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ファンドの特色



**米国中小型割安株・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、実質的に以下のような運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。**

- 原則として、米国の金融商品取引所に上場する中小型株式\*の中から、高配当かつバリュエーションが割安と判断される企業の株式等に投資します。  
※ 普通株式の他、優先出資証券、新株予約権付社債、上場不動産投資信託(REIT)、米国預託証書(ADR)等にも投資することがあります。
- ポートフォリオ構築にあたっては、配当利回り、バリュエーション、モメンタム、流動性等の分析・評価を行い、利益や配当の質、財務体質やキャッシュフローにも着目し、原則として約100銘柄程度に分散投資します。



**マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。**



**外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。**



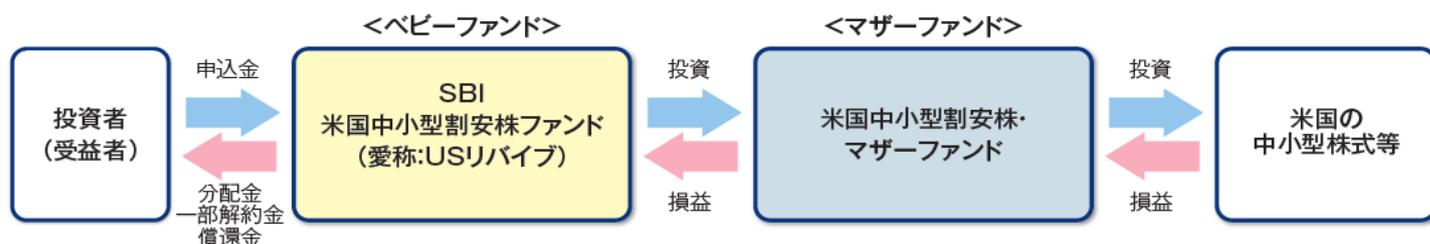
**アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが実質的な運用を行います。**

- マザーファンドの運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCに運用の指図に関する権限の一部を委託します。同社は、アリアンツ・グローバル・インベスターズグループの米国運用子会社です。

## ■ ファンドの仕組み

本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者の皆様からお預かりした資金をまとめてベビーファンド（本ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンド受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



### (愛称：USリバイブ)

追加型投信／海外／株式

## ファンドの特色

### 本ファンドの運用プロセス

投資対象銘柄ユニバース 約400~600銘柄

スクリーニング

投資対象銘柄ユニバースの絞り込み

ファンダメンタルズ調査

ポートフォリオ構築 約100銘柄程度

高配当で、かつバリュエーションが割安と判断される企業を選別

#### ■スクリーニングのポイント

・配当利回り ・バリュエーションによるランキング ・流動性  
・株価モメンタム、等

財務分析によるファンダメンタルズ調査と組入れ候補銘柄のリスクの検証

#### ■調査のポイント

・バランスシート ・キャッシュフロー ・利益と配当の質、等

※上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

### マザーファンドの実質的な運用を行う「アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC」について

アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの米国運用子会社です。



子会社

アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLC

アリアンツ・グローバル・インベスターズの米国運用子会社です。同社は、世界最大級の保険会社で125年以上の歴史を持つアリアンツグループ傘下であり、グローバルに資産運用業務を展開しています。世界18カ国で事業展開、運用資産残高約67兆円（2017年12月末時点、1米ドル112.65円で換算）。

また、米国テキサス州ダラスを拠点とする運用チーム※は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの中でもバリュー株運用のプラットフォームとして重要な役割を担っており、9名の運用プロフェッショナル（平均経験年数21年）が運用しています。運用資産残高約1.5兆円（2018年3月末時点、1米ドル106.35円で換算）。

※運用チームは、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLCの子会社であるNFJインベストメント・グループ LLCでしたが、2017年7月1日付でアリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLC と統合し、すべての権利義務が同社親会社に承継されました。実質的な運用体制に変更はありません。

※ 資金動向、市況動向、投資対象国の政治や経済情勢の変動、当該諸国の法規制等の変更、その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて主に米国株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建て資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因は以下の通りです。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

### 主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドはその影響により株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
為替変動リスク	外貨建て資産への投資については、為替変動による影響を受けます。本ファンドが保有する外貨建て資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、本ファンドの基準価額を下げる要因となります。
信用リスク	投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、本ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

### その他の留意点

- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

### リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。なお、デリバティブ取引については、社内規則に基づいて投資方針に則った運用が行われているか日々モニタリングを行っています。

## お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額となります。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨークの証券取引所またはニューヨークの商業銀行のいずれかの休業日の場合には、購入・換金の受付を行いません。
申込締切時間	原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。 なお、受付時間を過ぎてからの申込みは翌営業日の受付分として取扱います。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約または換金の請求額が多額となる場合には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金（解約）の申込の受付を中止すること及びすでに受付けた購入・換金（解約）の申込の受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限（設定日：2017年3月3日）
繰上償還	次の場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配を行います。 ※販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※税法が改正された場合には変更となる場合があります。

## 本資料のご留意点

- 本資料は、SBI アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。
- 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。
- 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。
- お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%（税抜：3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年1.9332%（税抜：年1.79%）を乗じて得た金額とします。運用管理費用（信託報酬）の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の6カ月終了日（休業日の場合は翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。	
	運用管理費用（信託報酬）	年1.9332%（税抜：年1.79%）
	内 委託会社	年1.1772%（税抜：年1.09%）
	販売会社	年0.7128%（税抜：年0.66%）
訳 受託会社	年0.0432%（税抜：年0.04%）	
委託会社の報酬には、マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託先への報酬（年0.69%）が含まれています。		
その他費用 及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等（有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等）が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。	

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	SBI アセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）
販売会社	※最終頁をご参照ください。（受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。）

(愛称：US リバイブ)

追加型投信／海外／株式

### 販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		

■ 販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。